

V 通信教育部

1 年間の諸行事・諸活動

2009（平成21年度） 通信教育部 学年暦 〔前学期〕

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月				
1	水	ご入学	1	金	1	月	②単位認定試験申込み開始 <6月13日(土)まで>	1	土	④単位認定試験申込み開始 <8月9日(日)まで>	1	火	⑤単位認定試験申込み開始<9月12日(土)まで> ⑦~⑩スクーリング申込み開始<9月12日(土)まで>	
2	木		2	土	2	火		2	日		2	水		
3	金	基本情報確認期間 <~4月30日(木)まで>	3	日	3	水		3	月	※後期授業料納入受付開始	3	木		
4	土		4	月	4	木		4	火		4	金		
5	日		5	火	5	金		5	水		5	土		
6	月		6	水	6	土		6	木		6	日		
7	火		7	木	①単位認定試験申込み開始 <5月16日(土)まで>	7	日		7	金		7	月	
8	水		8	金		8	月		8	土		8	火	
9	木		9	土		9	火		9	日		9	水	
10	金		10	日		10	水	①スクーリング申込み開始 <6月19日(金)まで>	10	月	②スクーリング	10	木	
11	土		11	月		11	木		11	火	↓	11	金	⑦~⑩スクーリング費納入締切
12	日		12	火		12	金		12	水	↓	12	土	
13	月		13	水		13	土		13	木	③スクーリング	13	日	
14	火		14	木		14	日		14	金	↓	14	月	
15	水		15	金		15	月		15	土	↓	15	火	
16	木		16	土		16	火		16	日	④スクーリング	16	水	
17	金		17	日		17	水		17	月	↓	17	木	
18	土	3年次編入学生既修得単位 認定願提出締切日	18	月		18	木	①スクーリング	18	火	↓	18	金	⑦スクーリング
19	日		19	火		19	金		19	水	⑤スクーリング 10月入学生出願受付開始 (~10月20日まで)	19	土	
20	月	到達度テスト稼働開始 4月入学生出願締切	20	水		20	土		20	木	↓	20	日	
21	火		21	木		21	日		21	金	↓	21	月	⑧スクーリング
22	水		22	金		22	月		22	土	⑥スクーリング	22	火	
23	木		23	土		23	火		23	日	↓	23	水	
24	金		24	日		24	水		24	月	↓	24	木	
25	土		25	月		25	木		25	火		25	金	
26	日		26	火		26	金	①スクーリング費納入締切日	26	水	③単位認定試験(Aグループ)	26	土	
27	月		27	水		27	土		27	木	②~⑥スクーリング費納入締切日	27	日	⑤単位認定試験(Aグループ)
28	火		28	木		28	日	②単位認定試験(Bグループ)	28	金	※後期授業料納入受付終了	28	月	
29	水		29	金		29	月		29	土		29	火	
30	木		30	土		30	火		30	日	④単位認定試験(Bグループ)	30	水	
			31	日	①単位認定試験(Aグループ)				31	月				

2009(平成21年度) 通信教育部 学年暦 [後学期]

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月									
1	木	⑥単位認定試験申込み開始 <10月13日(火)まで>		1	日	1	火	①スクーリング申込み開始<12月11日(金)まで> —教育実習事前指導申込みを含む ⑧単位認定試験申込み開始<12月11日(金)まで>	1	金	事務室休業(1月4日まで)	1	月	⑩単位認定試験申込み開始 <2月12日(金)まで> 科目等履修生 平成22年度継続確認開始	1	月	科目等履修生(継続者) 平成22年度受講料納入開始		
2	金	⑦単位認定試験申込み開始 <11月13日(金)まで>		2	月	2	水	2	土	2	火	2	火	2	火	2	火		
3	土			3	火	3	木	3	日	3	水	3	水	3	水	3	水		
4	日			4	水	4	金	4	月	4	木	4	木	4	木	4	木		
5	月			5	木	5	土	5	火	⑨単位認定試験申込み開始 ※卒業論文希望者受付開始<1月15日(金)まで> 平成22年度4月入学生出願受付(~4月20日まで)	5	金	5	金	5	金	5	金	
6	火			6	金	6	日	6	水	6	土	6	土	6	土	6	土		
7	水			7	土	7	月	7	木	7	日	7	日	7	日	7	日		
8	木			8	日	8	火	8	金	8	月	8	月	8	月	8	月		
9	金			9	月	9	水	9	土	⑩スクーリング	9	火	9	火	9	火			
10	土	⑨スクーリング	10	火	10	木	10	日	10	日	10	水	10	水	10	水	10	水	
11	日	↓	11	水	11	金	11	月	11	月	11	木	11	木	11	木	11	木	
12	月	↓	12	木	12	土	12	火	※平成22年度4月入学生 受付開始	12	金	12	金	12	金	12	金	12	金
13	火			13	金	13	日	13	水	13	土	13	土	13	土	13	土		
14	水			14	土	14	月	14	木	14	日	14	日	14	日	14	日		
15	木			15	日	15	火	15	金	15	月	15	月	15	月	15	月		
16	金			16	月	16	水	16	土	16	火	16	火	16	火	16	火		
17	土			17	火	17	木	17	日	17	水	17	水	17	水	17	水		
18	日			18	水	18	金	18	月	18	木	18	木	18	木	18	木		
19	月			19	木	19	土	19	火	19	金	19	金	19	金	19	金		
20	火	10月入学生出願締切	20	金	20	日	20	水	20	土	20	土	20	土	20	土	20	土	
21	水			21	土	⑩スクーリング	21	月	⑪スクーリング費納入締切	21	木	21	日	21	日	21	日		
22	木			22	日	↓	22	火	22	金	22	月	22	月	22	月			
23	金			23	月	↓	23	水	23	土	23	火	23	火	23	火			
24	土			24	火	↓	24	木	24	日	24	水	24	水	24	水			
25	日	⑥単位認定試験(Bグループ)	25	水	25	金	25	月	25	月	25	木	25	木	25	木	25	木	
26	月			26	木	26	土	26	火	26	金	26	金	26	金	26	金		
27	火			27	金	27	日	⑧単位認定試験(Bグループ)	27	水	27	土	27	土	27	土	27	土	
28	水			28	土	28	月	28	木	28	日	28	日	28	日	28	日		
29	木			29	日	⑦単位認定試験(Aグループ)	29	火	事務室休業(1月4日まで)	29	金	29	金	29	金	29	金		
30	金			30	月	↓	30	水	30	土	30	土	30	土	30	土	30	土	
31	土			31	火	↓	31	木	31	日	⑨単位認定試験(Aグループ)	31	日	31	日	31	日		

## 2 教育事業

### ・学部・学科・専攻の教育目標・方針の明確化

本通信教育課程は、通学制の国際コミュニケーション学部人間環境学科を基礎学部学科として、平成 21 年 4 月に開設され、通学制の国際コミュニケーション学部人間観環境学科と同じく人間環境専攻とこども教育専攻の 2 専攻から構成されている。したがって、本通信教育部の教育理念・目的ならびに人材養成目的は、基礎学部学科である通学制の国際コミュニケーション学部人間環境学科と同一であることを基本として下記のとおりである。

#### 【教育目的】

温暖化をはじめとする地球環境問題が深刻化する中、有限の資源を有効に利用しつつ、誰もが安心して生きることのできる持続可能な福祉社会を実現するという理念について理解し、環境・福祉、心身の健康、教育についての基礎知識を持ち、特に健康・スポーツ、教育・人材開発の分野において求められる知識・技能を修得していること。

#### 【人材養成目的】

淑徳大学の建学の精神に基づき、温暖化をはじめとする地球環境問題が深刻化する中、有限の資源を有効に利用しつつ、世代間や地域間の公平性・平等性を実現し、誰もが安心して生きることのできる持続可能な福祉社会の構築に資する人材を養成する。

### ・専攻の教育目的

本通信教育部人間環境学科の 2 専攻についても、それぞれの教育目的は、基礎学部学科である通学制の国際コミュニケーション学部人間環境学科の 2 専攻と同一であり、下記のとおりである。

#### 【人間環境専攻】

地球規模での視野のもとに、世界の様々な人々とともに、環境問題や高齢化社会の課題など、人間を取り巻く様々な環境における多様な問題や課題を科学的に考察し解決してゆくことのできる人材の養成

#### 【こども教育専攻】

地域生活の質の向上を目指して児童とともに自らも実践的に活動し、次世代に引き継がれる共生社会の構築において中核となる人材の教育に貢献する人材の育成

### ・今年度を実施した FD・修学支援内容

教員の資質の維持向上を図ることを目的として、授業アンケートの実施とアンケート結果に基づく授業改善、教職員研修会などを実施した。

#### ①授業アンケート結果に基づく FD の取り組み

通信教育部では、Web を利用したシステムを活用することにより学修の利便性の向上を図っており、授業アンケートについても Web を利用したシステムを活用して単位認定試験後に必ず実施している。単位認定試験を年間 5 回実施していることから通年を対象に授業アンケート結果をとりまとめ、授業内容の評価を把握するとともにその結果に基づいて更に学習内容やシラバス等の一層の向上を図ることとしている。

## ②教職員研修会によるFDの取り組み

教育課程の理解やWebシステムの習熟のための合宿形式の教職員研修、教育実習に係る指導方法についての教職員研修を、下記の期日に実施した。

①日 時 平成21年5月23日(土)～24日(日)

参加者 通信教育に係る専任教員、職員、教育実習巡回指導員 15名

テーマ 通信教育の教育課程について、Webシステムの現状と将来への利活用について

②日 時 平成21年11月10日(火) 15時～19時

参加者 通信教育に係る専任教員 4名

テーマ 通信教育でのメディアによる教育方法と開発について、海外のeラーニング事情について

③日 時 平成22年3月4日(木) 9時30分～16時

参加者 通信教育に係る専任教員、職員、教育実習巡回指導員、通学課程教員 15名

テーマ 教育実習における事前指導から事後指導の在り方について

これらの実施結果を踏まえて、今後も、委員会等の審議を順次重ねて、授業改善に取り組むこととしている。

学生への修学支援の内容は、次のとおりである。

- ①通信教育による学習においては、日常的な社会生活の中で印刷教材等に基づいて自学自習を重ねていくことが基本になっており、授業への主体的参加に対する学生の高い意欲に対してきめ細かく対応している。
- ②入学・進級時において配布する「シラバス」、Eメール・電話等による問い合わせ等により履修登録段階で学習の目的、到達目標、進め方等について理解できるようにしている。
- ③履修段階でも学習上の疑問や相談に対してEメール・電話等により回答・助言を行える体制を整えている。
- ④また、Webシステムを活用したテストを受験することにより学習の到達度を自己判断し、また各問題に関する解説等に基づいて継続的な学習を行うことにより更に理解を深めることが可能となるようになっている。
- ⑤Webシステム上のポートフォリオに基づいて学修状況全般を振り返り、今後の学習計画の検討への活用を促している。
- ⑥通信教育の基本は自学自習であることから孤独な学習になりがちであり、在学中の学生のためのWeb上に同じ目的で履修する学生同士の情報交換の場を設け、積極的に活用することとしている。
- ⑦また、学生個人が学習を進めるためのガイド的な役割を果たすことを企図して、個々の授業に関しても情報交換の場を設けている。

## 3 研究活動

通信教育部としての特記事項はない。

#### 4 社会貢献活動

平成 21 年、通信教育部開設記念講座開催として「学習支援」をテーマに「こどもの教育を支援する仕事に携わりたい、我が子の子育てに役立てたい」と考えている方を対象に、10 月 13 日～12 月 15 日の期間、計 6 日、10 回の連続講座をみずほ台キャンパスにて開講した。

#### 5 学生の活動

通信教育部としての特記事項はない。

#### 6 その他

通信教育部としての特記事項はない。